

「凍結含浸食」で食に楽しみ

訪問栄養指導で早期介入可能に

同胞互助会【中編】

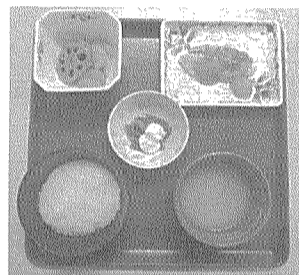
前編では、特別養護老人ホーム愛全園の、NSTラウンドをはじめとする栄養・食事面での取り組みを紹介した。今回は、その中でも特徴的な「凍結含浸食」を導入した食事提供から紹介する。

愛全園では、常食に加え、VEや栄養評価などを踏まえ、咀嚼や嚥下機能上必要な利用者へ、刻み食、ミキサー食に代えて「凍結含浸食」を提供している。凍結・解凍などの過程で素材に酵素を染み込ませ、食物の形や風味を維持したまま柔らかくする技術「凍結含浸法」を利用した食事だ。



食も導入している。繊維が柔らかくなった状態である凍結含浸食を、ほとんど加水せずにミキサーにかけて作る。量も味も元の素材に近くなり、食事も減っている利用者にも少量で栄養価の高い食事の提供が可能だ。

また、同園では利用者や家族の希望を叶える看取り対応も提供している。その中には、毎朝淹れたてコーヒーを出したり、「たくあんを食べたいけれど少量しか取れない」という利用者へ、法人運営の包括などを経ての利用開始後に、低栄養などを栄養・食事面で問題を抱え、デイでの食事提供だけでなく、自宅での栄養



素材の形や風味を活かした柔らかくした凍結含浸食写真提供：同胞互助会

訪問栄養指導があることで、ケアマネジャー、ヘルパーなども含む在宅部門と施設の連携、栄養課の中での連携を作り、「対応が必要なケースで早期始めに入ることができまう」と丸山和代園長は言う。

管理も必要利用者を見出すこともある。その際に活きるが、法人が訪問栄養指導・管理栄養士による居宅栄養管理指導（後編）で紹介もしていること。そこで食生活が立て直され、やがて特養のショートステイ利用、さらに特養入所に至るケースでも、ケアされた状態で特養の栄養管理や食事提供などにつながる。

福祉全般

訪問栄養指導があることで、ケアマネジャー、ヘルパーなども含む在宅部門と施設の連携、栄養課の中での連携を作り、「対応が必要なケースで早期始めに入ることができまう」と丸山和代園長は言う。

3月12日都内でセミナー

太平洋シルバークロス（東京都武蔵野市）は3月12日、第37回ケアセミナー「防災減災のアセスメントと多職種の連携と介護トリアージ演習」を開催する。大規模災害に備えた対策を考えるもの。講師は一般社団法人日本介護支援専門員協会の笠松信幸常任理事。東日本大震災や熊本地震北海道胆振東部地震などにおける被災地での活動経験も交えた講演を予定している。日本介護支援専門員協会の「災害支援ケアマネジャー養成研修」の演習を取り入れた体験型のセミナー。18時45分～20時30分。武蔵野スイングホールにて。完全予約制で先着80名まで。申込みは同社入居相談室へ。

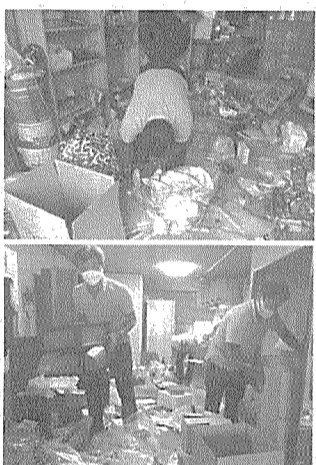
遺品整理 不動産売却前に

「売値」の大きな差に

一般社団法人心結（兵庫県伊丹市）の屋宜明彦代表理事は、遺品整理や生前整理の現場を6年経験したのち、2016年8月に独立。片付け事業を中心に、高齢者サポート事業を行っている。遺品整理の「困りごと」と「業者選びのポイント」について話を聞いた。



ひとつは、親から家を相続して売却しようと思っても、荷物が大量にあると話がスムーズに進まないことです。不動産会社が「荷物は置いたままでいいですよ」と言っている



▲遺品整理の様子

実際に遺品整理費用を差し引いた家の売却評価額を提示してきます。200万円を差し引かれたという人に聞いたら、「当社では50万円程度で行える荷物の量でした。遺品整理は、不動産売却前に行った方がよいと思います。また、家を売却するときに、大きな仏壇の処分に困り、相談されることが結構あります。当社では、僧侶に依頼し、高額の支払いをしたという人も見られます。先日、000万円だったとい

う人がいて、びっくりしました。間取りを聞いたら、どう計算しても高すぎます。遺品整理の「困りごと」にはこのほか、「医療品の処分」、「長期間空家状態の家は埃や虫の死骸が多い」などがあります。遺品整理業に参入してくる業者は年々増え、現在は全国に約1万社あると言われています。それに伴い、消費者生活センターへの苦情も増えてきており、2017年度は105件であったもの

が、18年度は前年度の約2倍に増えたと言われます。遺品整理を依頼するときは、業者選びが重要です。依頼してしまってからでは遅いからです。要望に添えてくれる業者であることが確認できて初めて、見積もりに来てもうっていただきます。そのときは、「人となり」、「遺品整理の実施件数」、「どういう民間資格を持っているか」、「古物の資格は持っているか」などを聞いて、信頼できそうか確認してください。見積書を出さない業者も結構あります。明細の入った見積書を出してくれるかどうか、業者選びの重要なポイントです。

重要な業者選び

業者選びでは、依頼する人の目、耳、感覚が大事です。具体的に、まず電話で問い合わせの際、対応がきちんとしているかどうか、「電話を折り返さない」、「言葉使いが悪い」などの業者は、その段階で外した方が良いでしょう。次に、要望を伝えてください。例えば、こういう遺品は残して欲しいとか、これは買い取って欲しいので査定

週刊 高齢者住宅新聞

ためし読み

新規購読 検討者 限定

1か月間(4号分)無料でお届け

※既に本紙を定期購読している法人・個人は対象外となります。

- 発行形態 定期購読・タブロイド版、毎週水曜日発行(月4回、各20ページ)
- 主要読者層 施設運営会社、介護サービス会社、医療法人、社会福祉法人、人材サービス、給食・配食会社、不動産・建設会社、土地所有者、設備機器・建材、システム関連、金融関連、自治体ほか
- 年間購読料 21,000円(税別) ※送料込

高齢者住宅新聞は、介護・医療の経営や運営に役立つ情報をギュッと凝縮した経営専門紙です。取材を通じて「生きた経営・運営情報」を掲載しているのが特徴です。

自動的に定期購読にはなりません!!

お試し期間が終了したら、お客様の定期購読のご意向をお伺いします。

お試し後、納得したら定期購読を!!

ためし読みのお申し込みはHPかメールにて

HP 高齢者住宅新聞 検索

Mail info@koureisha-jutaku.com

お申し込み受付後、最新号から1か月間(4号分)の高齢者住宅新聞をお送りします。